

令和4年度愛知県がんセンター公開講座(第4回)オンデマンド配信のご案内

「膵がんの最新診療」

=配信期間：令和6年11月8日(金)正午～11月25日(月)正午=

< 講師からのメッセージ >

「膵がんの診断法 -最新の知見-」

膵臓はお腹の深いところにある臓器で一般的な検査では診断・評価をすることが難しいため、肝臓と同じく症状が出にくい「沈黙の臓器」と呼ばれています。そのため強い症状が出てから膵がんが診断された場合進行していることが多いため、症状が出る前に早期に膵がんを診断、状態の正確な評価をすることがとても重要です。また膵がんが診断で膵がんにもみえても良性の疾患のこともあり、治療方針決定のために病変の精密な検査も重要です。

愛知県がんセンター消化器内科部では、世界的にも最先端な方法を用いて膵がんの早期診断と膵がんの精密検査に力を入れています。本講演では当施設の膵がんの早期診断の取り組みと、膵がんの診断の方法を最新の知見を踏まえてご説明します。

消化器内科部 医長 桑原 崇通